

平成 30 年度 第 3 回 蕨市健康づくり推進会議 議事録

日 時 平成 31 年 3 月 28 日 (木)  
午後 1 時 30 分～3 時  
場 所 蕨市保健センター  
2 階 健康教育室

<出席者>

齊藤 富代	埼玉県南部保健所
羽根田 高洋	蕨戸田歯科医師会
庄 喬	蕨市地域薬剤師会
岡村 増美	蕨市スポーツ推進委員協議会
寺内 幸恵	蕨市地域包括支援センター
植田 富美子	国民健康保険運営協議会
◎吉岡 幸子	帝京科学大学医療科学部看護学科 (会長)
伊藤 祐介	スポーツクラブ ルネサンス蕨
藤川 昌弘	公募市民
加山 千恵子	公募市民
傍聴人	1 名

1 開会

会長挨拶

2 議題

- (1) 平成 30 年度事業報告について
- (2) 蕨市自殺対策計画について
- (3) 平成 31 年度事業について
- (4) その他

(1) 平成30年度事業報告について

- 委員：各学校では食育を行っていますよね？それは子ども達結構受けていると思いますが、食育は子どもよりお母さん。お母さんが作るか作らないかで栄養が偏ってくるので小学生に教えてもあんまり意味がないと私の感想ですが。お母さんを主体にして食育講座を行ったほうが良いと思うのですが。
- 事務局：8月に小学生対象に実施しているのですが、家の中でお母さんのお手伝いをしながら簡単に子どもが出来るものを給食センターの栄養士と一緒に企画し、小学校の中でも教えている事業を生かしながら実習を行っています。小学校で食育の教育をしていますので、その中でも興味がある子がこの会に参加しているのだと思います。
- 委員：埼玉県健康長寿モデル事業のモニターとサポーターをやってみて、やって良かったと思うところは、参加された方は歩くことだけではなく、人との出会いや関わりがあったこと、保健センターの方との交流があったり、喜んでくれたりと意見ではありませんが感想です。
- 会長：とても心強いご意見をいただいたと思います。蕨市さん上げてのプロジェクトでしたので委員としても市民としても参加されたのはとてもありがたいご意見だったと思います。
- 委員：個人的にもこのプロジェクトが気になるころでした。参加者数は増えていると思いますが、一方で募集の人数500に対しての284についての課題があったのかどうか。
- 事務局：500を県の方に健康マイレージ事業ということで目標を立てたのですが、学校関係にチラシを配ったりしていますが、思ったよりスマートフォンでの希望者が増えなかったというところがあります。歩数計での参加は前年度からの参加者も積極的に参加していただいたので増えているのですが、スマートフォンは機種制限もあったり、ガラケーの参加は出来ない、若い方の参加が難しかったというように感じています。手軽にスマートフォン出来るのですが、そこまではというところが感想としてあるのかなど。
- 委員：歯科疾患予防20歳検診ですが、869名で83名受けたということですか。
- 委員：低いと言えば低いですね。成年式と絡めて、この時というのはレントゲンを撮れるメリットがある、完成期間近の状態が把握出来てそれをずっと一生使う。レントゲンも撮れるし、意味合いとしては他の歯の検診より密度は濃いのですが、なかなか周知徹底が出来ていないところがある。
- 委員：町内の掲示板に貼っていますが、どのくらい受けているのかなと思っていましたが、低いからもったいないですよ。
- 委員：この世代はむし歯の罹患率が低いですから、そこだけの観点で捉えられちゃうと、ただニュアンス的にはむし歯も含み、顎間接や親知らずの問題を視診だけではなく、レントゲンも撮れ、把握できる、すごくいい検診だと思うところもあるが自分らの力不足もあるが、この数値はびっくりしている。少なくとも15%はいきたい。これから社会に出て行くとなかなか機会がないと思うので、いい機会だと思っているのですが。

- 会 長：私も大学生抱えてますので、掲示板や広報見ないだろうなとも思いますし、どこかPRしていただき、むし歯ではなく今の話を聞けば、素晴らしい検診だと思いますので是非ターゲットの20歳の方にも届くようにして欲しいと思います。記憶では全国的には珍しいですよ。他ではやってないですよ。
- 委 員：歯科でレントゲンが撮れる検診は少ない。歯周疾患検診は少し騒ぎが出てきている。自分達が言える範囲が限られてきている。スクリーニングのニュアンスが強いですから。ただこれに関しては充実した検診なので、このパーセントは低すぎると思う。
- 事務局：成年式で新成人に対して、市からお土産とでも言いましょうか、袋をお渡ししているのですが、その中にもご自宅に通知が届いているので、受けましょうというような通知を入れています。
- 会 長：健康のためにいいよと言ってもなかなか入ってこないが、それでももったいないということもありますし、蕨独自とか、他でやってないなど、もっと押しただければと思います。

## (2) 蕨市自殺対策計画について

- 会 長：主に冊子を作成しましたというお話でした。事務局から説明がありましたが、これは計画ということでこれから具体的なものを作っていくということで、また来年度報告が逐次あるかと思しますので、その中で意見を頂いたり修正したりということがあると思います。先ほどのコメントに関してはまだコメント出していないと言うことでよろしいですか。
- 事務局：はい。この会議が終わりましたら、ホームページに載せようと思います。

## (3) 平成31年度事業について

- 委 員：幼稚園や保育園と保健センターとの繋がりはあるのでしょうか。
- 事務局：虐待を考えるようなケースにつきましては幼稚園、保育園との連携をとっております。子どもの様子を見に行くということもありますし、発達の問題でそこからお母さんの気持ちが不安定になるということもありますので、発達のほうも見に行ったりですとか、うちで依頼している先生と問題に応じて一緒に行っていただいていますので、現在も連携していますが、さらに子育て包括のほうのスタッフも関係していくような形になると思います。あと保育園のほうもお母さんの子育てが問題であると、集団の目が必要ということもありますので、保育園の入園なども考えるということでコンシェルジュの活用ということになってくるかと思えます。
- 会 長：蕨市さんや戸田市さんは普通は3歳児健診で終わるのですが、5歳児健診でしたか。4歳半健診というのを、これも全国的に珍しいのでしょうか。
- 事務局：そうですね、あまりないかもしれません。古くから戸田市蕨市は行っている。
- 会 長：受診率はそこまで高くないと想像しますが。
- 事務局：健診の中では受診率高くはないですが、その中でも少しずつ増えてはいます。

- 会 長：子育てに関しては今までも色々やっていたけれども、ということですよ。それでも子育てに悩んでいる方もいらっしゃるので、より充実させていくということだと思います。
- 委 員：健康マイレージについては今年度も500人を対象ですか。
- 事務局：目標は500人です。
- 委 員：これが最低ラインですか。
- 事務局：最低ラインとは言わないですが、推奨ラインですね。300とかもあるのですが、それだと割高になる。蕨の場合は下積みがあるので、スマホの方も少し行けば500ぐらいいくだらうと思っていましたが伸びなかった。その辺についてはもう少し考えていこうということです。
- 委 員：『楽しく歩いてポイント貯めよう』の取組みは個人的にはいいなと思っていますが、スポーツクラブの業界でも今、ポケモンGOがブームになっていまして、あれを目的にして結果歩くというのが昨年一年間我々の業界でも話題になっていまして、楽しみながら運動をするというのはいいと思っています。課題として、どこの世代の人達を増やしていきたいのか。ある程度時間がある方がご参加しているということの話でしたので、もう少し若い方の参加ということで認知していくことが大事かなと思っています。蕨市はスポーツクラブがすごくある地域です。スポーツクラブは若い方が通う傾向があり、そこをうまく使っていくといいのかなと。例えばスイミングの保護者の方、まさにやって欲しい世代の層だと思うのですが、非常にたくさんの方がいらっしゃるって、そういうところに空いている時間に登録していただいたりとかすれば、500という目標もいけるのではないかと考えておりますので、協力できる場所があればさせていただきたいと思います。

#### (4) その他

事務局より、受動喫煙（健康増進法一部改正）、風しん抗体検査予防接種実施について説明

- 会 長：二つ新しい情報をありがとうございます。ロコミが大事ですので、皆さんご家族お友達含めてご連絡していただければと思います。

### 3 閉 会

以上